

地震発生時の対応について

1 児童が学校にいて地震が発生した場合

「震度5弱以上のとき」

保護者が引き取りに来るまで、避難場所（学校3階）で待機させます。たとえ、時間がかかっても保護者が迎えに来るまでは、学校で保護します。

※津波の到達が予想される場合は、迎えよりもまず、自分の身の安全を最優先してください。

「震度4以下のとき」

校内及び通学路の安全を確認したのち、原則として通常通り授業を行い下校させます。状況に応じて、引き渡しをしたり、いつもより早めに教職員付き添いで下校したりする場合があります。『保護者連絡帳』を確認してください。

2 児童が在宅中に地震が発生した場合

「震度5弱以上のとき」

原則として自宅待機とします。（学校からの安否確認があります）余震や災害情報に注意し、家族の安全確保を最優先してください。

「震度4以下のとき」

自宅周辺及び通学路の安全を確認したのち、原則として登校します。

3 児童が登下校中に地震が発生した場合

「震度5弱以上のとき」

- (1) 安全を確保する行動をとり、揺れが収まったら周囲の安全を確認させます。
- (2) 自宅、学校の近い方へ避難させます。（自宅に人がいない場合は、近隣で大人がいるところへ（学校を含む）
- (3) 自宅に戻った児童は、自宅待機とします。（学校からの安否確認があります）
- (4) 登校した児童、学校に戻った児童は、保護者が引き取りに来るまで、学校で待機させます。たとえ時間がかかっても保護者が迎えに来るまでは、学校で保護します。

「震度4以下のとき」

安全を確保する行動をとり、揺れが収まったら周囲の安全を確保し、登校・下校をします。校内及び地域・通学路の安全を確認したのち、原則として通常通り授業を行い下校させます。状況に応じて、いつもより早めに教職員付き添いで下校したりする場合があります。

◎揺れを感じたら、ブロック塀や高い建物、川岸からすぐ離れる。ランドセルや手提げ袋等で頭部を守る。

建物の中にいる場合は、部屋の中央で身をかがめ、机等の下に避難する。

※ 自宅周辺が危険な状況にある場合は、上記の限りではありません。保護者の方は、安全確保を最優先し、適宜、安全第一に避難する、登校を遅らせる等の判断をしてください。

※ 災害発生時には、緊急連絡用回線の確保が必要なため、電話でのお問い合わせはお控えください。

大地震

が起きた時の学校・家庭の対応

連島北小学校対応マニュアル

大きな地震（震度5弱以上）が起きたら、連島北小では次のように対応します。

児童が**学校**にいるときの対応

➡ 自動的に児童は**引き渡し**になります。

学校・児童

- ① 揺れが収まるまで安全を確保
- ② 児童は教師の指示で校庭に避難
※津波警報が出たら校舎3階へ避難
- ③ 引き渡し『保護者連絡帳』発信
- ④ 児童の**引き渡し**

状況を見て、校庭や校舎内になる場合もある。

※迎えが来ない場合は、学校で保護する。

児童が**家**にいるときの対応

➡ 自動的に児童は**自宅待機**になります。

学校

- ① 『保護者連絡帳』で自宅待機メールを発信
- ② 情報収集と学校再開に向けて、関係諸機関との調整

家庭・児童

- ① 『保護者連絡帳』、TV、ラジオ等で状況把握
- ② 学校再開の連絡を待つ
※学校から安否確認があります。

～大地震発生～

停電して信号が止まる
立ってられないなど
大きなゆれの地震
(震度5弱以上)

児童が**登下校中**

の対応

➡ 自動的に児童は引き渡しになります

児童

- ① 揺れが収まるまで、その場で安全確保
- ② 揺れが収まったら、登校班で**学校か家の近い方へ移動**
- ③ 家に帰っても家族がいない場合は書き置きをして大人のいる安全な場所(学校も含む)に避難

学校

- ① 揺れが収まるまで安全を確保
- ② 在校児童を校庭(校舎3階)に避難させ、在校児童、登下校中の児童の安否確認
- ③ 『保護者連絡帳』を発信して、引き渡しを実施
- ④ 児童の引き渡し
- ⑤ 教職員は児童の安否確認をし、地区パトロールをする

家庭の対応

- ① 『保護者連絡帳』、TV、ラジオ等で状況把握

もしメールが発信されなくても

登下校中なら

- ② 通学路の安全確認をしながら徒歩で児童を(探しながら)迎えに来る。
児童と会えたら、自宅で待機等、身の安全を確保。※学校から、**安否確認があります。**
児童が学校まで来ていたら、引き渡しをする

授業中なら

- ③ 学校へ迎えに行く
保護者が迎えに来るまで、児童は学校に待機させる。

☆この文書は、本校ホームページにも掲載しています。